

福島第一原子力発電所 雑固体廃棄物焼却設備（A）焼却炉バーナー ユニット軽油供給圧力減圧弁のガイドプラグからの軽油の漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2022年4月11日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 4月8日午後10時40分頃、定例パトロール中の協力企業作業員が、雑固体廃棄物焼却設備（A）焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁※1の下部に設置している軽油受けパンに軽油が滴下（2滴）していることを発見しました。
- 同日午後10時43分、当該作業員が現場を確認したところ、当該減圧弁のガイドプラグ※2に軽油が滲んでいることを確認したことから、滲みを拭き取りしたところ、ガイドプラグから軽油が漏えいしました。当該作業員は、当該減圧弁の上流に設置されている弁を直ちに閉止し、午後10時45分頃、軽油の漏えいが停止したことを確認しています。
- 漏えいした軽油は、当該設備において焼却運転等を行う際に使用する燃料であり、漏えい範囲は、当該受けパン（約2.3m×約0.6m×高さ約5cm）の内側において約2.3m×約0.6m×深さ約3cm、および当該受けパンの外側において約2m×約3m×約1mmです。なお、雑固体廃棄物焼却設備建屋の外への漏えいはありません。また、漏えいした軽油は、すくい取りや拭き取りにより、4月9日午前2時13分、回収作業が完了しています。
- なお、4月8日午後11時14分に双葉消防本部へ119番通報を行っております。双葉消防本部から「危険物漏えい事故」と判断されています。また、浪江消防署から、当該設備は当面の間、運転を行わないよう指導を受けています。
- 当該設備については、年に1回の定期点検のため運転停止中であり、今後、軽油が漏えいした原因究明を行うとともに、適切に再発防止対策を講じてまいります。
- なお、雑固体廃棄物焼却設備建屋排気筒ガスモニタ・ダストモニタ、敷地境界モニタリングポスト・ダストモニタ、構内ダストモニタ、構内線量表示器の指示値において、有意な変動がないことを確認しており、環境への影響はないと判断しています。

※1 焼却炉バーナーユニット軽油供給減圧弁：焼却炉バーナーに供給する軽油の圧力を調整する弁

※2 ガイドプラグ：弁棒が所定の位置で動くようにする部品

【参考】 雑固体廃棄物焼却設備のイメージ図および現場状況等

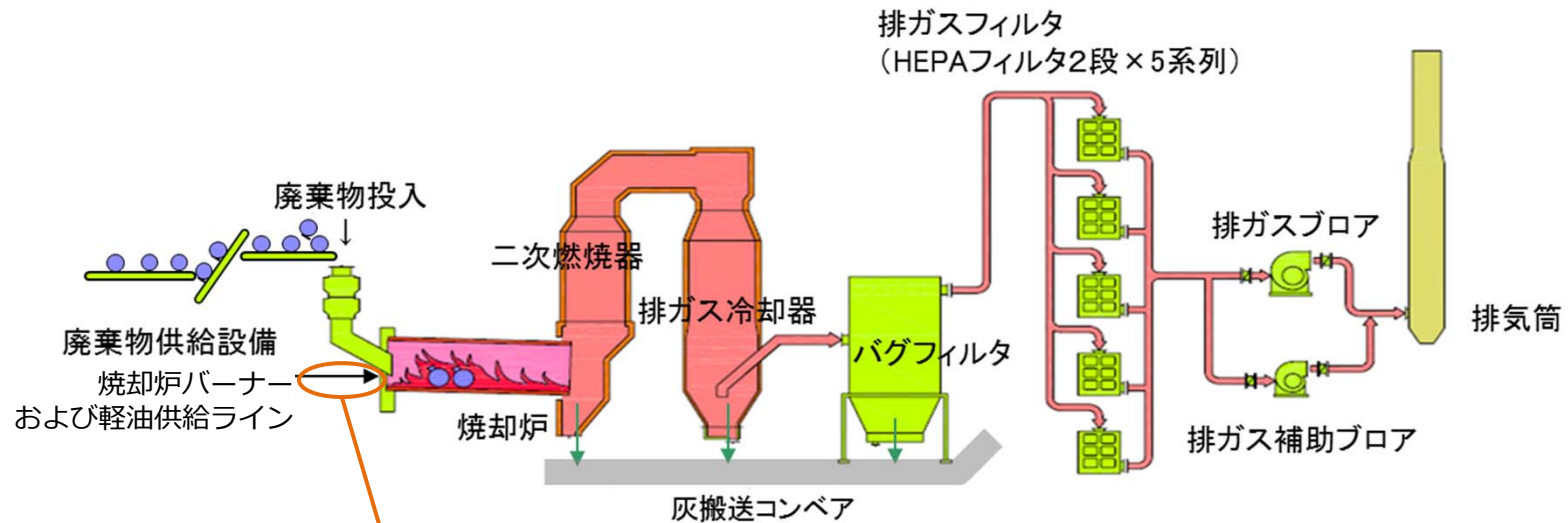


図1. 雑固体廃棄物焼却設備のイメージ図

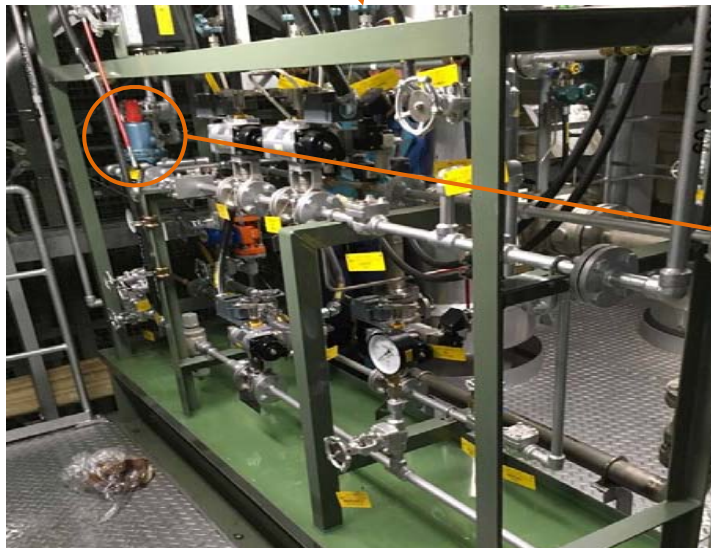


写真1. 現場状況



写真2. 当該減圧弁

ガイドプラグ